

H 9 年 3 月 3 0 日 (日)

青木山、覚円寺住職の話から

獄楽仙人の美術館、インドの仏像の名前がいっぱいある

大門の朴木と言う名の人の所へ大方文書が行ったんだけど大方処分してしまった。大門の中町の焼き鳥屋をしておられる、私とあの人と鮎が好きながですけどその親がほとんど処分してしまった。松ノ木の親部さん所にもいろいろあります。あんたがたおいでになったけれど覚円寺の略図、古文書がほとんど家から出てしまって無いんですよ。わたしらになんしとんがねと本願寺の方からまた喧しく言うてきてちょっとその事とまた別なんですけれど

寺の過去帳ちゅのは寛正 2 年（ここを計算しますと 3 7 0 年前だいたい蓮如聖人
親蘭聖人

じょうおう 1 5 代 じょうにん 1 6 代 1 7 代かんがく、1 8 代 1 9 代

資料が有ったんだけど誰にかしたかわからんようになった、原本が初代から有ったんだけど原本が初代、了円からずーと有ったんだけど？ 前の過去帳に二上山の麓にいたと真言宗にいて、そして神楽川が氾濫したときに、たまたま朴木に真言宗の僧侶が勉強にきて神楽川に、ひとみ後光をあげると言う話しが有ったらしいです。僧侶がする必要がないところゆうふうに言ったらしいんです。神楽川に石造仏を建てれば氾濫が止まると朴木村の人に言たらしい。結局、昔沖塚原と朴木の間に、くさせんみたいな物がずーと氾濫時期に積んで有ったああ言うことをすれば氾濫が止まると教えたらしいんです。その時にこれだけの人だったら朴木に来て下さいと言うて朴木へ二上山からこの地域へ移住して来たらしいんです。もともと二上山麓に真言宗の寺として有ったんです。そう言う資料が全然わからんようになった経堂の中に入っていた資料が有ったがですけどこれはもう長い間ほっぽらかして経堂も雨漏りになって全然わからんようになってしもうた訳です。

(北村先生)

(青木寺)

二上山の所にじそん寺ですか荻野のあそこに人身供養、(そう)大蛇とも雲のなんか(そう)、(そう) 毎年なんかね、人身供養の関係でこっちへ来られた(そう)

(北村先生)

京都の八坂の僧侶に来てもらっててもらった(なんかそうらしいです) その関係人身供養が有名です。

(青木寺)

じょうせん

私とこで今のところ何しとるがは、歴代の住職、乗専と言う人が 1 4 代、土代から来たときに門徒が 8 0 位しか無かったそうです。それを 2 0 0 位にしたそうです。教宣を広めて、

そう言われる資料も有ったんです。

(北村先生)

この過去帳は、いつのですか。

(青林)

うちの父親がを一変整理しとるがです判るものだけ整理しておくがです。私どもあなたがたもそうだろうと思うんですけど名を姓を付けられたのが一般には、うえしんの時だと言われていまして寺の過去帳を見るとうえしん前にはや姓が付いてるんです。ここまでは、昔の屋号で呼ばれていた安政に付いていなく、明治前に名前が付いている。

名前を付ける時にお寺に委嘱したらしいんです。天明にはまだ、寛正年鑑にかね。文化、天保、

檀家の過去帳、安政6年から姓が付いた。万延元年から姓が付いている。この時代に寺に名前を付ける権限を譲っている(正規は、明治3年と言われていましてけれど)明治3年前に姓がついてしまっている、寺の過去帳では。今井村のゆいごとか伏木の宮本、やごもとよしと出ています。安政6年に大門の朴木、村田ろく三郎、とか姓が付いている。

今井村のしょうえ門 後手とか・・・・・・・・

川口の石灘武平佐 2件しかない。朴木から出た、谷正寺の横が本家、でその隣が分家私ところの過去帳を見ると呉羽の方に門徒が18件程有るんですけど呉羽の門徒は、はっきりしているんですよ系列が牧野、塚原と言う所は、相当過密地帯らしかったんです。次男、三男に生まれても分家資金も分けてやる田んぼもないと呉羽山の山麓へ行って開拓すればどうにかなると、そしてその私とこの朴木の門徒がそこへやったらしいです。その人が開拓してこれがこの今のスーパー有りますねあこの下の方に小高い山のほうに墓が有りますけれど18件の門徒が二つの系統に別れておるんです。一番古い先祖は山の一番天辺に分家したのがその下にその次がその下におるんです墓の規律が違ってくるんです。二つの系統で本家の上には墓が無い。

勸学さんと藪波浄慧はと言う人は17代の随念の弟が藪波浄慧が氷見の藪田へ養子に行つてそしてそのその時代朴木には水田地帯で単作だけやっとはいかんちゅことでイグサを処理したらしい、畳み表のイグサをね。フケの多い田んぼばかりやったのでイグサを奨励したらしいです。その功勞で藪波浄慧・滝水薰什と二人でうちの方にしょっちゅう来ておった。朴木の村に貢献したちゅこと(石碑が朴木の公民館の前にあたっています)

この人藪波浄慧は変わつとられてこうごう聖人のときに今まで私が聞いたのでは公職が違ふんですが全部国費にせんなん言うたときに白紙に戻す時に反対してそんとき藪田の寺は高岡の教務書ですけど私のところは、金沢の金沢術院の檀家だったんですがその時、僧侶を剥奪されている本山から、本山の言っていることと違った事をしているからしかし後程また許可されている。だから変わった人やつた浄慧と言う人は。私の寺から勸学さんと浄慧だけですな勸学さんはりよぎょう上人の時に竜国大学を建てられた時のりんぎょう聖人の

掛け軸が有るんです。実績が有ったらしいです。

塚原に門徒が多いのはどこですかやはり、在所朴木ですちや塚原村では、いくらかい門徒が有りますか。今、朴木では相当沢山有りますけれどその頃は寺入れて38所帯で22所帯が寺の門徒、沖塚原には15件、川口には4件、宮袋には2件・・・・・・・・

宮袋の朴木まっついほとんど青木の寺の門徒です。姓を付けたときに寺の門徒やから朴木と言う姓を付けた呉羽にも全部朴木と言う姓が有る一件残らず。

沖塚原は前多と中村と言う姓、川口は石灘、芝木、山崎 松ノ木は壁屋の山崎

じょう勧学は、新湊の円徳さんといききをしておった円徳聖人と筆を書くとか何とかの軸が有ります、持ってきましたよかなんやったら・・・・・・・・

全部どこか行ってしまっって これは、円徳僧侶のです。安政6年です、あのね円徳寺と有る程度の関連が有ったのでは、無いかと思うんです。というのは、新湊に32の寺が有るけれど、私ところと、円徳さんだけが本山とつながっている、寺のみどの中に仕切りがない、ほかの寺は全部廊下が有ったり他と離している32の西本願寺・私のところと円徳さんが・・・・と本堂がくっいている。本堂と横は。同じながです。

過去帳をみると

あんたうちの人は偉い人やつたが先々代の新湊の藤田から来ておった作次郎が田んぼをまんで売ってしもうた蔵は3つあった米蔵、衣装蔵ともう一つの蔵と門でも石垣積んだ大きい門があった帯刀正印さんの門よりもまだ立派な門があったが、そいつも売ってしもうたその時作次郎は射水郡の群農会の会長やったが人力車で小杉まで通って帰りの人力車が家へ入って来んと放上津の十銭町(酉町) 行って毎晩、毎晩芸者あげてドンチャン騒ぎやってそして田んぼを売ってしまった門も袖付けの門、倉庫見たいな門、ごいしのうを持ってくる人は、そこへ米を預けた門の横の蔵へ今で無くなってしまったけど朴木の戸村をやっていた石黒さんよりまだ早く面積をだすのが早かった、それで琵琶湖の測量に行こうという事が書いてあった、石黒さんと一緒に仕事しとった測量とかそうゆうもんで、石黒文庫、石黒文庫と言えど青木太兵の何が相当の貢献をしている青木太兵と言わんと石黒文庫、石黒文庫ばかり言っているけれどあの倉庫の中に太兵と言う書類がいっぱいあるはずや石黒文庫の中に。何でも聞いてみますけど高井さん源四郎さんは、高持ちやったが今ではもう農地改革で田んぼを亡くなったけど何々の何坪か一坪か二坪全部村へ分けてやった、と言うのはその当時の源四郎と言う人は、県会議員に立候補したときに辞表を持っていなきゃ投票件が無かったが自分の田んぼを分泌してそしてなんぶかそこいらやって投票権にした作道の亡くなられた斉藤さんが市長やったあの人も県会議員に出たあんどときもこの人が五代天皇県会議長です。今の大門から小杉にかかっている道が県会議員のとき作った道そんどときそのそのね今で言えば汚職に引っ掛かったと言うのは、全部して藁を入れて泥を積んだ、その当時は、車が無いしね、人力車、荷車を引っ張って歩いたが沈んでどうにもこ

うにもならなかった。調べたら全部したが藁やったあん時にひっかかっとながです。県会議員を止めさせられておる。

納屋を壊した時に、経堂の中に入っていますけど信州総全集と言うのが60何冊かありますけれどちょっとほかの寺にはないです。68冊、一冊は無くなっている。信州全集ちやいま経堂へ行って案内しますけど、相当古いですよ

(北村先生)

(寺)

この寺は火災にあった事がありますか。ないんです、だから本堂の造り変えを親父が死んでから3年すんでからやったんですが、そんなときにみどを建てた頭領が380年位たっているとと言うとられた。寺へ入って見られるように寺の一般の寺は丸い柱を使っておられる。が徳川幕府の時は、丸い柱を使っては行けない一般の参拝の所は、2間ごとに柱を建てると全部柱なくしては、みどを建てたらいかんと、こいつの規制が徳川幕府やったと、と言うのは、柱がないと兵隊を集める恐れがあったとその為に2間ごとに柱が立っている。場所へ行って説明します。

(山崎先生)

天明の飢饉の時に多くの方が死んでいる。天明の飢饉が終わった途端に死ぬ人が少なくなっている。300門徒6人1家族とみれば1800人の内1年間に50何人死んでおるがいちゃね、何パーセントになるかいね・・・・サンノジョウ父、母とあるでしょう同じ日に両親が死んでおるがいちゃ考えられんことながいちゃ、天明4年にどだけんの方が死んだるかこっだけん死んだるかでかいと、正月、2月、3月、4月ずーと行って9月から米が捕れる時期に途端に減つとがね、天明の時期に米が不足したと言う事が分かる。天明2年、3年がひどかったと推測できる。・・・・・・・・

世の中の動きが過去帳でそのまま出てくる。

